学校番号	１０１５

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	地学基礎　改訂版　（啓林館出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学は、一言で言うと「地球」について学ぶ科目です。それはつまり、身の回りの自然について学ぶということです。扱う内容は、地球内部や地表面、海洋や大気、そして宇宙に至るまで多岐に渡ります。様々な側面から「地球」を見つめることで、自然のスケールの大きさ、自然界のバランスにも思いをはせながら、興味を持って積極的に学んでください。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身近な自然現象に関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	身近な自然現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察や実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念の原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・探求活動の記録や発表	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・探究活動の記録や発表 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・観察・実験の記録 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・観察・実験の記録 ・定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">前期中間</td><td rowspan="5">固体地球とその変動</td><td>第１章　地球
第１節　地球の概観</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="5">a: プレートの分布と運動，およびプレート運動に伴う大地形の形成について興味をもち，プレート運動に関連する火山活動や地震の発生の仕組みについて調べようとする。
b: 地球の形の特徴と大きさを，観察や測定の結果などから考えることができる。
c: 衛星画像を使って断層を探すことができる。
火成岩の組織を観察することができる。
d: プレート境界やプレート内部における火山分布や火山活動の特徴がわかる。
組織と造岩鉱物の組成に基づく火山岩の分類がわかる。</td><td rowspan="5">・学習状況の観察
・ノートやワークシートの記述
・探究活動の記録
・定期考査の結果</td></tr>
<tr><td>第２章　活動する地球
第２節　地球の内部構造</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>第１節　プレートテクトニクスと地球の活動</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>第２節　地震</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>第３節　火山活動と火成岩の形成</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">前期期末</td><td rowspan="5">移り変わる地球</td><td>第１章　地球史の読み方
第１節 堆積岩とその形成</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="5">a: 古生物の変遷と地球環境の変化について調べようとする。
b: 大気の変化と気候の変化，生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。
c 堆積岩を観察し，粒子の種類や大きさを調べることができる。
d: 地層が形成されるしくみがわかる。地質構造がわかる。</td><td rowspan="5">・学習状況の観察
・ノートやワークシートの記述
・探究活動の記録
・定期考査の結果</td></tr>
<tr><td>第２節 地層と地質構造</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>第３節 地球の歴史の区分と化石</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>第２章　地球と生命の進化
第１節 先カンブリア時代</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>第２節 顕生代</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

後期中間	大気と海洋	第１章　大気の構造 第１節 大気圏	○				a：大気圏の層構造に興味をもち，雲や降水のような対流圏の気象について調べようとする。 b：緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。 大気の大循環による熱の輸送について考えることができる。 c：各地の観測データから気温と高度の関係を調べることができる。 天気図を用いて，高気圧や低気圧の移動を調べることができる。 d：大気の組成と大気圏の層構造がわかる。 上昇気流によって雲が生じることがわかる。	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・探究活動の記録 ・定期考査の結果
		第２節 水と気象			○	○		
		第２章　太陽放射と大気・海水の運動 第１節 地球のエネルギー収支				○		
		第２節 大気の大循環		○				
		第３節 海水の循環		○				
		第３章　日本の天気 第１節　日本の位置		○				
		第２節 冬から春の天気	○		○			
		第３節 夏から秋の天気	○		○			
後期期末	宇宙の構成	第１章　太陽系と太陽 第１節 太陽系の天体	○				a：太陽系の姿に興味をもち，太陽系の天体の特徴と太陽系の誕生について調べようとする b：銀河系の構造について考えることができる。 膨張する宇宙から宇宙の誕生について考えることができる。 c：望遠鏡で太陽像を投影し，太陽表面を観察することができる。 太陽光などのスペクトルを観察することができる。 d：緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 太陽の誕生と進化の過程がわかる。	・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・探究活動の記録 ・定期考査の結果
		第２節 太陽系の誕生		○				
		第３節 太陽		○				
		第２章　恒星としての太陽の進化 第１節 太陽と恒星				○		
		第２節 太陽の誕生と進化				○		

		第３章　銀河系と宇宙 第１節 銀河系とまわりの銀河	○	○				
		第２節 宇宙の姿		○				
	自然との共生	第１節 地球環境と人類	○				a: 自然との共生に興味をもち，自然の恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて調べようとする。 b: 火山・地震災害、気象災害と防災への取り組みについて考えることができる。。 c: オゾンホールの面積のデータを使って，オゾンホールの面積の経年変化を調べることができる。 d: 火山・地震災害がわかる。 火山や地震の監視と防災がわかる。	
		第２節 火山・地震災害と社会				○		
		第３節　気象災害と社会		○	○			
		第４節 人間生活と地球環境の変化			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。